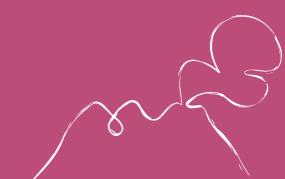


第五次総合計画  
後期基本計画

地域別計画

- I 中央地域 (I) 中央地区  
(II) 上町地区  
(III) 鴨池地区  
(IV) 城西地区  
(V) 武・田上地区
- II 谷山地域 (I) 谷山北部地区  
(II) 谷山地区
- III 伊敷地域
- IV 吉野地域
- V 桜島地域
- VI 吉田地域
- VII 喜入地域
- VIII 松元地域
- IX 郡山地域



# 地域別計画



◇市域の各地域・地区別に、まちづくりの基本的方向等を明らかにする

## 1 ● 地域別計画の考え方

### 地域・地区の区分

- \* 本市は、多様な特性を備えた地域によって構成されていることから、行政所管区域を基本に市域を大きく9地域に区分します。
- \* このうち、2地域（中央地域、谷山地域）については、地形等の自然条件、交通、都市機能の集積等の諸条件を踏まえ、さらに7地区に区分します。

### 計画の内容

- \* 市域の各地域・地区別に、現状及び課題、まちづくりの基本的方向を明らかにするとともに、基本目標別計画の各種施策の主なもの等について掲載します。

### 地域別計画の推進にあたって

- \* 各地域・地区別のまちづくりを進めていくにあたっては、より身近な地域単位における多様な地域コミュニティ組織の連携等を図り、地域資源の活用や地域課題に対して、自分たちの地域は自分たちでつくるという意識を育み、住民主体のまちづくりを一層推進していく必要があります。
- \* そのため、これまで地域コミュニティ協議会の設立やセーフコミュニティの推進をはじめ、協働推進のためのさまざまな取組を進め、住民主体で地域の課題に向き合う体制づくりや活動への支援を行っています。
- \* また、将来にわたって持続可能なまちを目指し、地域の特性に応じた居住や都市機能の誘導と公共交通体系の構築により、地域活力の維持・増進を図るとともに、コンパクトなまちづくりを推進します。
- \* 今後は、これらの取組を通じた成果や課題等も踏まえる中で、地域の実情に応じた施策・事業についてさらに検討を進めていきます。

## 地域別計画



地域・地区的内訳

地域	地区	町丁目名	H29年4月1日現在の町丁目名による
中央地域	中央地区	名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、吳服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町	
	上町地区	坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稻荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）	
	鴨池地区	高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南都元町、東都元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目	
	城西地区	城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～7丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目	
谷山地域	武・田上地区	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～2丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）	
	谷山北部地区	五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町	
	谷山地区	西谷山1～2丁目、清和3～4丁目、上福元町、谷山中央1～8丁目、下福元町、慈眼寺町、和田1～3丁目、平川町、卸本町、南栄1～6丁目、七ツ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目	
	伊敷地域	伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西之谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町	
吉野地域	岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、吉野1～2丁目、大明丘1～3丁目		
桜島地域	桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町		
吉田地域	西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目		
喜入地域	喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町		
松元地域	石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町		
郡山地域	花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町		

## 地域別計画

### 2 地域の現況

H27年10月1日現在の町丁目名による

項目	中央地域									
	中央地区	全市構成比	上町地区	全市構成比	鴨池地区	全市構成比	城西地区	全市構成比	武・田上地区	全市構成比
面積 (H27年10月1日現在)	4.0km <sup>2</sup>	0.7%	8.9km <sup>2</sup>	1.6%	13.1km <sup>2</sup>	2.4%	7.7km <sup>2</sup>	1.4%	15.2km <sup>2</sup>	2.8%
人口	40,283人	6.7%	40,603人	6.8%	106,145人	17.7%	46,184人	7.7%	59,946人	10.0%
	男	17,818人	6.4%	18,317人	6.6%	49,936人	17.9%	21,151人	7.6%	27,981人
世帯数	24,524世帯	9.1%	18,891世帯	7.0%	54,860世帯	20.3%	21,491世帯	8.0%	26,669世帯	9.9%
平均世帯人員	1.6人	(2.2人)	2.1人	(2.2人)	1.9人	(2.2人)	2.1人	(2.2人)	2.2人	(2.2人)
年齢別人口構成比	0~14歳	10.2% (13.8%)	12.4%	(13.8%)	13.2% (13.8%)	12.7% (13.8%)	13.5% (13.8%)			
	15~64歳	68.0% (61.3%)	57.8%	(61.3%)	65.4% (61.3%)	59.9% (61.3%)	60.6% (61.3%)			
	65歳以上	21.8% (24.8%)	29.8%	(24.8%)	21.4% (24.8%)	27.4% (24.8%)	25.9% (24.8%)			
産業別就業者比率	第一次産業	0.3% (1.4%)	0.6%	(1.4%)	0.3% (1.4%)	0.5% (1.4%)	0.6% (1.4%)			
	第二次産業	8.6% (15.2%)	11.8%	(15.2%)	11.8% (15.2%)	11.0% (15.2%)	15.6% (15.2%)			
	第三次産業	91.1% (83.3%)	87.6%	(83.3%)	87.9% (83.3%)	88.5% (83.3%)	83.8% (83.3%)			

項目	谷山地域				伊敷地域	全市構成比	吉野地域	全市構成比	桜島地域	全市構成比
	谷山北部地区	全市構成比	谷山地区	全市構成比						
面積 (H27年10月1日現在)	36.1km <sup>2</sup>	6.6%	70.7km <sup>2</sup>	12.9%	57.0km <sup>2</sup>	10.4%	33.2km <sup>2</sup>	6.1%	76.8km <sup>2</sup>	14.0%
人口	84,224人	14.0%	74,862人	12.5%	51,295人	8.6%	47,268人	7.9%	4,401人	0.7%
	男	39,987人	14.3%	35,414人	12.7%	23,458人	8.4%	22,061人	7.9%	2,046人
世帯数	34,244世帯	12.7%	30,761世帯	11.4%	20,871世帯	7.7%	18,328世帯	6.8%	2,054世帯	0.8%
平均世帯人員	2.5人	(2.2人)	2.4人	(2.2人)	2.5人	(2.2人)	2.6人	(2.2人)	2.1人	(2.2人)
年齢別人口構成比	0~14歳	16.2% (13.8%)	15.2%	(13.8%)	13.2% (13.8%)	15.2% (13.8%)	9.6% (13.8%)			
	15~64歳	63.8% (61.3%)	62.6%	(61.3%)	57.5% (61.3%)	55.9% (61.3%)	47.2% (61.3%)			
	65歳以上	20.0% (24.8%)	22.2%	(24.8%)	29.3% (24.8%)	28.9% (24.8%)	43.2% (24.8%)			
産業別就業者比率	第一次産業	0.6% (1.4%)	0.8%	(1.4%)	1.5% (1.4%)	2.9% (1.4%)	20.0% (1.4%)			
	第二次産業	16.1% (15.2%)	20.3%	(15.2%)	15.8% (15.2%)	17.3% (15.2%)	13.4% (15.2%)			
	第三次産業	83.2% (83.3%)	78.9%	(83.3%)	82.8% (83.3%)	79.8% (83.3%)	66.6% (83.3%)			

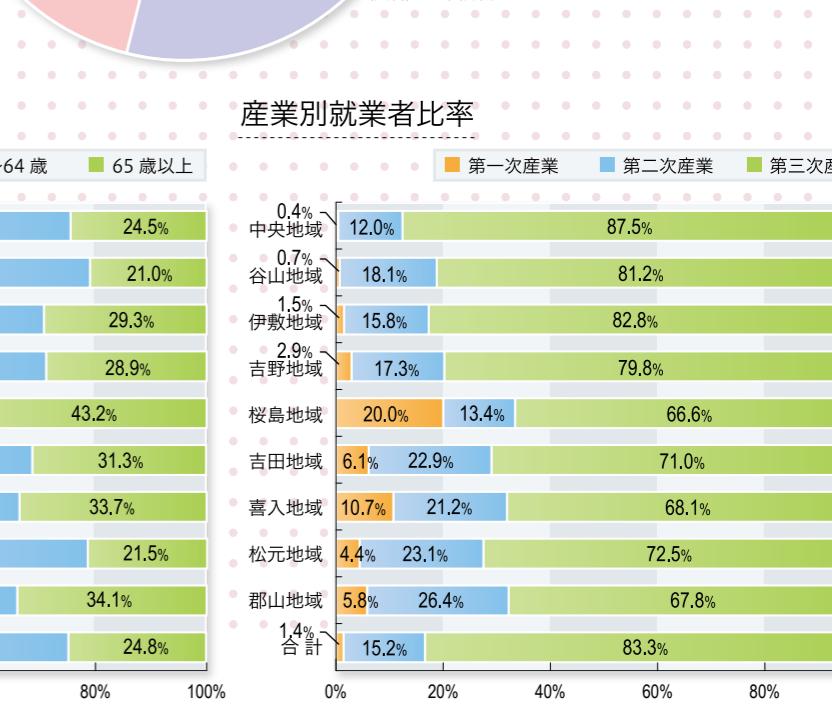
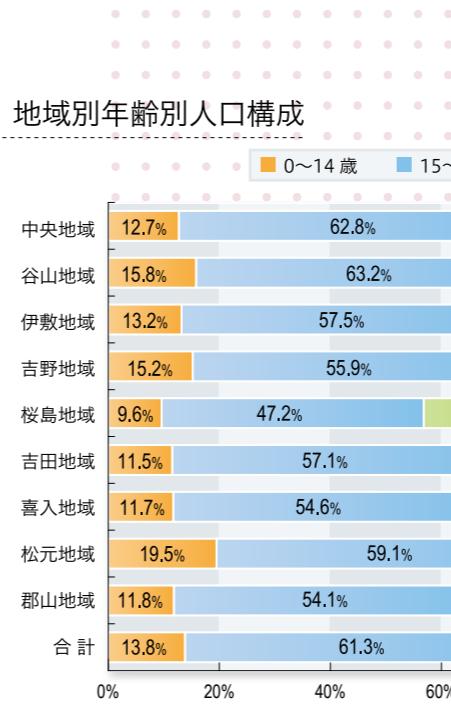
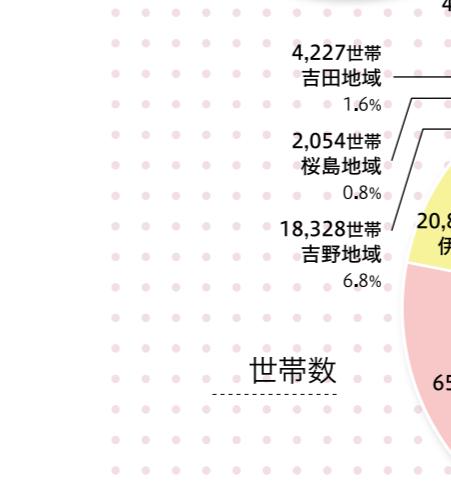
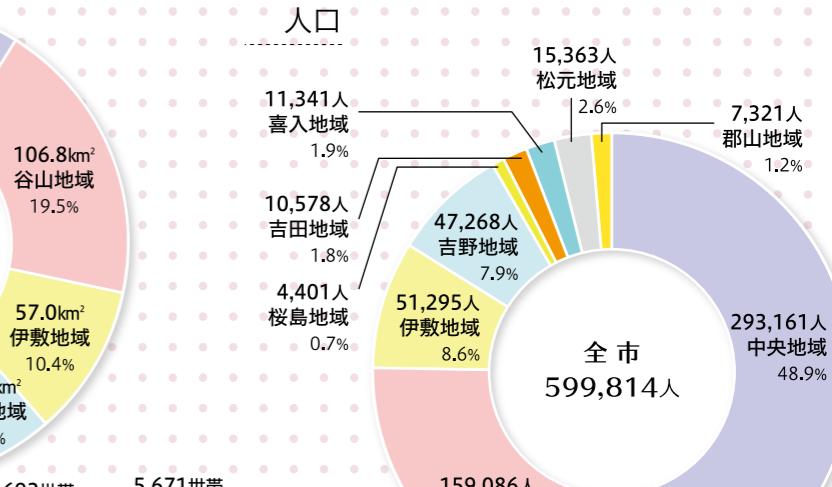
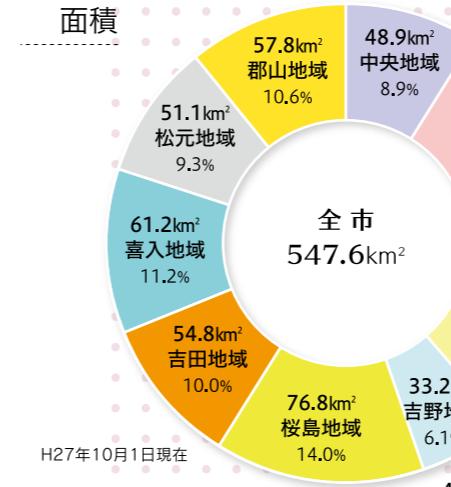
項目	吉田地域	全市構成比	喜入地域	全市構成比	松元地域	全市構成比	郡山地域	全市構成比
面積 (H27年10月1日現在)	54.8km <sup>2</sup>	10.0%	61.2km <sup>2</sup>	11.2%	51.1km <sup>2</sup>	9.3%	57.8km <sup>2</sup>	10.6%
人口	10,578人	1.8%	11,341人	1.9%	15,363人	2.6%	7,321人	1.2%
	男	4,916人	1.8%	5,292人	1.9%	7,326人	2.6%	3,405人
世帯数	4,227世帯	1.6%	4,692世帯	1.7%	5,671世帯	2.1%	2,986世帯	1.1%
平均世帯人員	2.5人	(2.2人)	2.4人	(2.2人)	2.7人	(2.2人)	2.5人	(2.2人)
年齢別人口構成比	0~14歳	11.5% (13.8%)	11.7% (13.8%)	19.5% (13.8%)	11.8% (13.8%)			
	15~64歳	57.1% (61.3%)	54.6% (61.3%)	59.1% (61.3%)	54.1% (61.3%)			
	65歳以上	31.3% (24.8%)	33.7% (24.8%)	21.5% (24.8%)	34.1% (24.8%)			
産業別就業者比率	第一次産業	6.1% (1.4%)	10.7% (1.4%)	4.4% (1.4%)	5.8% (1.4%)			
	第二次産業	22.9% (15.2%)	21.2% (15.2%)	23.1% (15.2%)	26.4% (15.2%)			
	第三次産業	71.0% (83.3%)	68.1% (83.3%)	72.5% (83.3%)	67.8% (83.3%)			

(注1)表中の( )は、全市の数値。年齢別人口構成比及び産業別就業者比率は、小数点以下第2位を四捨五入しており、端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

(注2)年齢別人口構成比は、年齢不詳分を除いて算出している。また、産業別就業者比率は、分類不能分を除いて算出している。

(注3)平成27年10月1日より後に住居表示が実施された町については、住居表示実施前の町丁目により地域・地区を分類し、上の表にデータを表示している。

(資料)平成27年(2015年)国勢調査(※産業別就業者比率は平成22年(2010年)国勢調査)



地域別計画

## I • 中央地域 (I) 中央地区

- ・中央地区は、本市のほぼ中央部に位置し、いづろ・天文館を含む平坦部の市街地と臨海部の新港区、鹿児島中央駅東口周辺から上之園町、上荒田町までを含む地区で構成されています。
  - ・地区の人口は増加傾向にあり、生産年齢人口比率が68.0%と全市で最も高く、平均世帯人員は最も少なくなっています。
  - ・商業・業務・サービス機能が集積し、中心市街地を形成するとともに、天文館公園、緑化された市電軌道敷、甲突川と周辺の緑地、上荒田の杜公園など、潤いのある空間整備も進められてきています。
  - ・陸の玄関である鹿児島中央駅をはじめ、唐湊線等の市電、新潟区など主要な交通施設が整備されており、鹿児島中央駅東口周辺では、九州新幹線鹿児島ルートの全線開業に伴い、再開発による商業施設やホテル等の整備が進んでいます。

A map of Japan with the Chubu region highlighted in blue. The label "中央" (Chubu) is placed to the right of the highlighted area.

- 面 積 : 4.0km<sup>2</sup>
- 人 口 : 40,283人
- 世 蕙 数 : 24,524世 蕙

H27国勢調査

- ・商業・業務機能をはじめとする多様な都市機能の集積や、広域交通及び市内交通の拠点機能、さらには路面電車の走る市街地景観や、緑化された市電軌道敷と公園・街路樹等の緑を生かし、市民や観光客等が数多く訪れる雇用も創出する中心市街地として、さらなる魅力向上を図る必要があります。
  - ・鹿児島中央駅地区、いづろ・天文館地区、本港区を結ぶ都市軸及びその周辺においては特にハード・ソフト両面から回遊性の向上を図る必要があります。

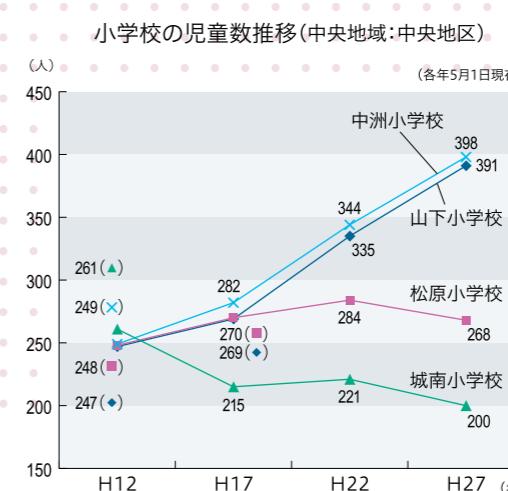
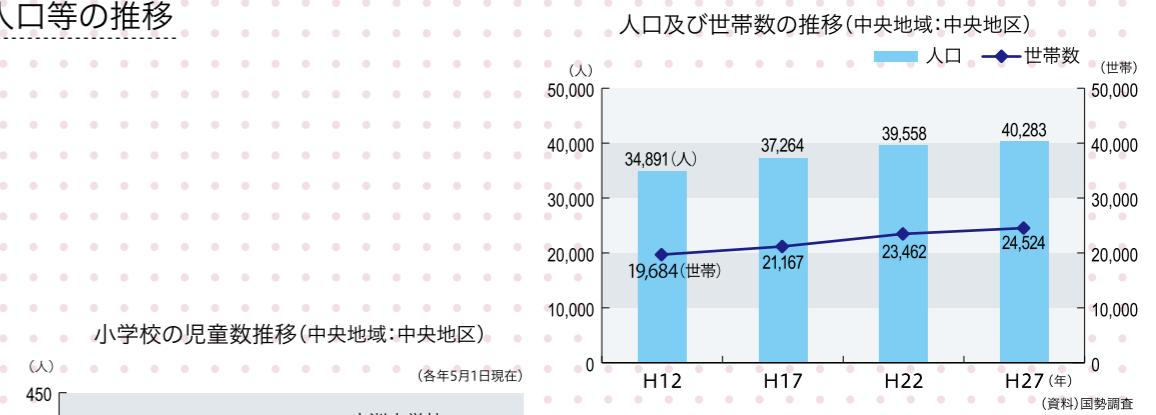
- ・中心市街地活性化基本計画に基づく施策・事業の推進により、商業・サービス業の活性化、安心安全・快適な都市環境の創出を図るとともに、まちなかでのイベントの充実等による観光・交流機能の強化を図ります。
  - ・利便性の高い立地条件を生かし、商業施設と都市型住宅等の複合した再開発の促進、市立病院跡地の緑地整備、国際交流センターの整備、魚類市場の再整備を進めます。
  - ・集積する都市機能の強化を図るとともに、新規創業者等育成や企業立地の推進により、新たな雇用創出を図ります。
  - ・特色ある都市景観、まちなかの緑や甲突川などの自然を生かし、にぎわいと潤いが共存する都市空間の創出を図ります。
  - ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

- ・ 中心市街地活性化基本計画の推進
  - ・ 天文館ミリオネーション、鹿児島マラソンなど街なかでのイベントの充
  - ・ 維新ふるさと館、観光交流センター等の活用
  - ・ コミュニティサイクルの運営、自転車走行空間づくりの推進
  - ・ いづろ・天文館地区の回遊空間づくりの推進
  - ・ 千日町1・4番街区市街地再開発事業の推進
  - ・ 鹿児島中央駅周辺の一体的まちづくりの推進
  - ・ 中央町19・20番街区市街地再開発事業の推進
  - ・ 立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
  - ・ 市立病院跡地の緑地整備
  - ・ 国際交流センターの整備
  - ・ 魚類市場の再整備
  - ・ クリエイティブ産業創出拠点整備事業の推進
  - ・ 地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
  - ・ セーフコミュニティの取組の推進

## ・地区の概要



## 人口等の推移



## 地域別計画

I

### 中央地域 (II) 上町地区

現状

- 上町地区は、本市の中央部北側に位置し、稻荷川下流域の平坦部の市街地と臨海部の本港区、磯周辺の自然海岸及びその後背の台地部で構成されています。
- 地区の人口は減少傾向にあり、老人人口比率が29.8%に達し、全市平均の24.8%より高い数値となっています。
- 本地区は、桜島や錦江湾の眺望に優れ、市街地に近接した貴重な緑地や自然海岸、「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録された磯地区の近代化産業遺産や石垣・石塀が残る歴史的な風格ある街並みなど、歴史、文化と自然に恵まれた風土を有しています。
- また、市役所周辺には、歴史・文化などに関する市の中心的な公共施設が立地するとともに、鹿児島駅、桜島・離島航路を有する本港区、国道10号、県道鹿児島吉田線等の交通施設が集積する本市の北の玄関口となっています。



・面積：8.9km<sup>2</sup>  
・人口：40,603人  
・世帯数：18,891世帯

H27国勢調査

課題

- 鉄道、市電、バス、フェリーなど公共交通機関が集積している一方で、交通相互の結節機能や待合環境が十分とは言えず、また、公共公益施設の移転等に伴う地区的活力低下への対応も必要となっています。
- 姶良・吉野方面からの交通が国道10号などの限られた路線に集中することによる、交通混雑が発生しています。
- 磯地区においては、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である「旧集成館」があり、貴重な文化遺産や歴史資源を将来世代に継承するとともに、これらを生かした魅力ある地域づくりが求められています。
- 本港区を含む周辺一帯においては、市民等が楽しみ、憩える、快適で高質なウォーターフロントの創出が求められています。

基本的方向

- 鹿児島駅周辺地区においては、上町ふれあい広場等（かんまちあ）を活用するとともに、交通結節機能の強化を図り、魅力ある新たな都市拠点を形成します。
- 広域的な幹線道路の整備を促進するとともに、丘陵部の住宅団地と平坦部市街地を結ぶ幹線道路の整備を進めます。
- 本港区を含む周辺一帯においては、県有地の利用計画も踏まえた土地利用の誘導方策等の検討を行います。
- 公共施設等を利用する市民等が快適に移動できるよう、自転車走行空間の整備を進めます。
- 優れた都市景観や魅力ある観光資源を活用した都市型観光を推進するため、路面電車観光路線の新設や桜島フェリーの活用策について検討を行います。
- 公共施設の機能向上を図るとともに、歴史、文化と自然に恵まれた風土などの地域資源を生かした、個性あふれる地域づくりを地域住民の多様な地域活動と連携しながら進めます。

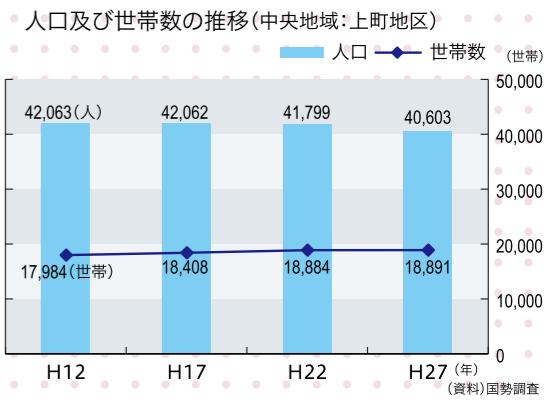
主な施策・事業

- 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業の推進、上町ふれあい広場等（かんまちあ）の活用
- 立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- 国道10号鹿児島北バイパスの整備促進
- 街路事業の推進（鼓川通線）
- 路面電車観光路線検討事業の推進や桜島フェリーの都市景観・観光資源としての活用検討
- 世界文化遺産の保全と活用、JR磯駅の設置に関する検討
- 自転車走行空間づくりの推進
- 磯地区・南洲門前通り地区の景観修景の推進や景観保全のための地域活動への支援
- 歴史と文化の道地区の景観形成重点地区指定
- 鶴丸城御楼門の観光資源としての活用
- かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館、市立美術館、西郷南洲顕彰館、かごしま水族館などにおける企画展やイベント等の開催
- 市役所本庁舎と一緒にした都市の杜の整備
- 城山公園の保全
- 地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
- セーフコミュニティの取組の推進

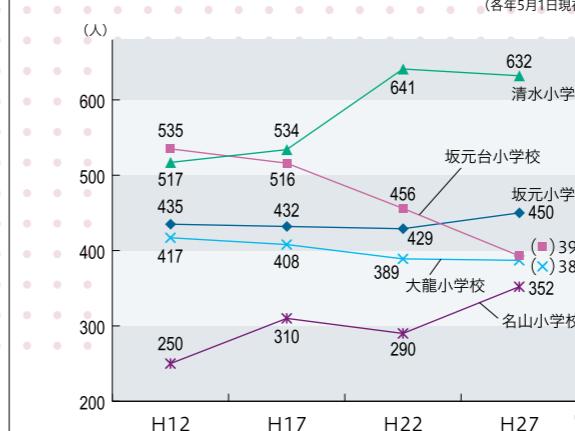
#### 地区の概要



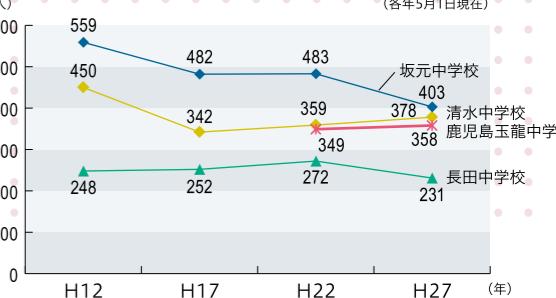
#### 人口等の推移



#### 小学校の児童数推移(中央地域:上町地区)



#### 中学校の生徒数推移(中央地域:上町地区)



地域別計画

## I • 中央地域 (III) 鴨池地区

- ・鴨池地区は、本市の中央部に位置し、甲突川と新川に囲まれた平坦部と脇田川沿岸から新川にかけての丘陵部及び平坦部、与次郎ヶ浜から金属団地に至る臨海部で構成されています。
- ・地区の人口は概ね横ばいであり、生産年齢人口比率が65.4%と中央地区に次いで高くなっています。
- ・本地区には、鹿児島大学をはじめとする教育機関が多く、また与次郎ヶ浜地区一帯には、市民文化ホール、市立図書館等の文化施設や鴨池運動公園等のスポーツ施設など、教育、文化、スポーツ・レクリエーション活動の拠点が集中しています。
- ・本地区には、鹿児島の南北方向を連絡する国道225号、産業道路や高麗通線など幹線道路が多数あります。



- ・面 積：13.1km<sup>2</sup>
- ・人 口：106,145人
- ・世帯数：54,860世帯

H27国勢調査

課題

- ・国道225号や産業道路の広域的な道路では、交通混雑が発生しています。
- ・地域経済の活性化や豊かな地域社会を実現するために、大学と行政、企業、市民等の交流を通じて効果的な施策の展開を図っていくことが求められています。

基本的方向

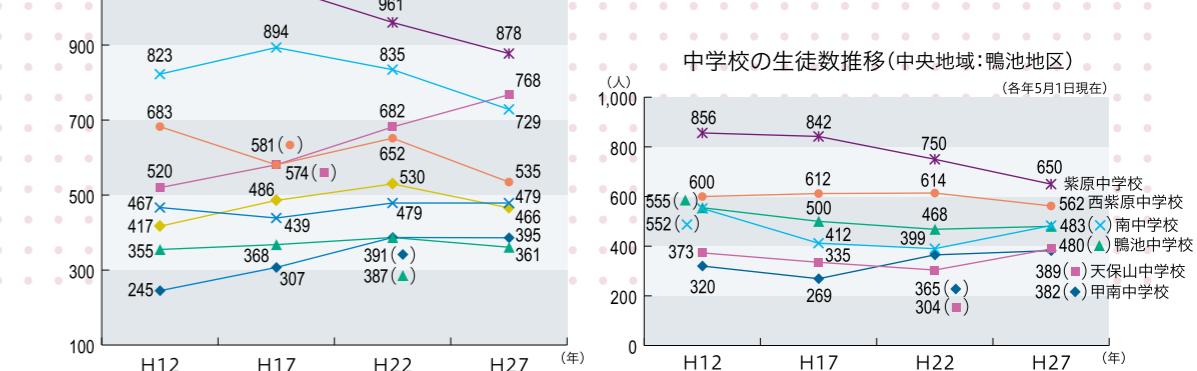
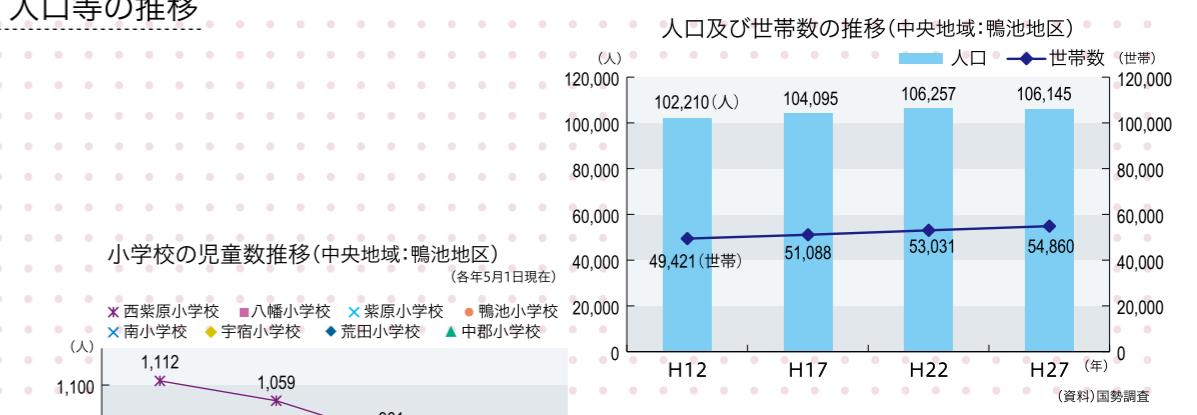
- ・地域の活性化を図ります。
- ・広域的な幹線道路等の整備を促進します。
- ・公共施設等を利用する市民等が快適に移動できるよう、自転車走行空間の整備を進めます。
- ・大学等が有する豊富な知的、人的資源を有効に活用し、地域の活性化を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、世代間の交流の場やふれあいの機会を増やすために、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

- ・地区計画等を併用した用途地域等の見直し
  - ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
  - ・鹿児島東西幹線道路・鹿児島南北幹線道路・臨港道路の整備促進
  - ・自転車走行空間づくりの推進
  - ・鹿児島大学・鹿児島女子短期大学・鹿児島純心女子短期大学・志學館大学との連携
  - ・交通局跡地の民間による活用
  - ・鴨池公園の水泳プールや多目的屋内運動場等の体育施設の活用
  - ・市民文化ホールや市立図書館、科学館等の文化施設の活用
  - ・すこやか子育て交流館（りぼんかん）を拠点とした子育て支援の促進
  - ・地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
  - ・セーフコミュニティの取組の推進

## 地区の概要



人口等の推移



## 地域別計画

### I 中央地域 (IV) 城西地区

現状

- ・城西地区は、都心部の北西に隣接し、地区の中央を流れる甲突川沿岸の平坦地とそれを挟む丘陵地で構成されています。
- ・地区の人口は減少傾向にありますが、人口密度は、中央地区、鴨池地区に次いで高くなっています。
- ・本地区は、都心部に隣接する閑静な住宅地で、鹿児島アリーナなど多くの教育文化施設があり、文教市街地としての性格を有しています。
- ・かごしま環境未来館があり、環境保全活動の拠点施設として、環境学習やリサイクルなどさまざまな活動が行われています。
- ・鹿児島中央駅西口周辺においては、商業施設やホテルなど九州新幹線鹿児島ルートの全線開業に伴う環境整備が進んでいます。



課題

- ・多くの教育文化施設、かごしま環境未来館の立地や機能を十分生かしていくとともに、丘陵部の住宅団地と平坦部の交通の円滑化、防災性向上に向けた生活環境の改善、甲突川や都心部に近い貴重な緑の保全・活用を図る必要があります。
- ・近年、平坦部におけるマンション建設等が進んだことによる地域としての一体感の希薄化や高齢化の進行などにより、地域活動の維持・活性化が課題となっています。

基本的方向

- ・かごしま環境未来館や鹿児島アリーナ等の施設を活用し、環境学習、環境保全活動や健康・スポーツ、各種イベント等を通じた交流を促進します。
- ・地域生活道路の整備により、都心部への交通の円滑化を図ります。
- ・公共施設等を利用する市民等が快適に移動できるよう、自転車走行空間の整備を進めます。
- ・甲突川や緑地を地域の身近な自然として保全・活用を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

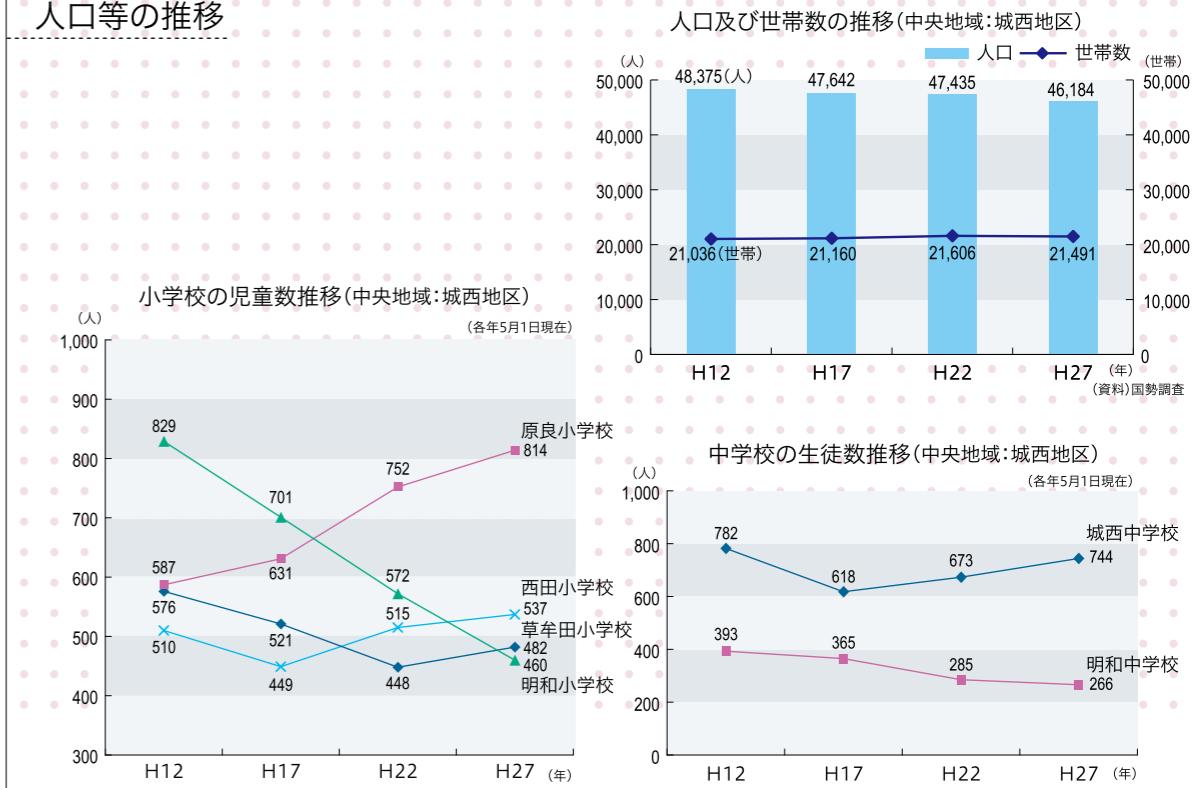
主要な施策・事業

- ・かごしま環境未来館の環境学習、環境保全活動の拠点としての機能充実
- ・鹿児島アリーナ等における各種イベント等の開催
- ・交通円滑化に向けた地域生活道路の整備
- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・自転車走行空間づくりの推進
- ・旧島津氏玉里邸庭園の活用
- ・地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

#### 地区の概要



#### 人口等の推移



## 地域別計画

### I 中央地域 (V) 武・田上地区

現状

- 武・田上地区は、新川、脇田川の上流域に位置し、河川沿岸の平坦地と東部の丘陵、西部の山地で構成されています。
- 地区の人口は減少傾向にあり、年齢別人口構成比は、全市構成比に近い、平均的な数値となっています。
- 本地区の平坦部市街地においては、土地区画整理事業により基盤整備の進められた区域がある一方、狭隘な道路など生活基盤の脆弱な新川沿岸の住宅密集地などがあります。
- 自動車専用道路のインターチェンジが集中するなど交通の要衝となっており、大峯の丘陵部に九州縦貫自動車道鹿児島インターに直結して鹿児島流通業務団地が形成され、運輸・卸売の事業者が数多く立地するなど、広域的な産業・物流の拠点となっています。



課題

- 自動車専用道路などの広域交通の集中に加え、丘陵部の大型団地などから都心部へ向かう交通が県道鹿児島東市来線や県道永吉入佐鹿児島線など限られた道路へ集中することから、慢性的な交通渋滞が生じています。
- 新川沿岸の田上小学校周辺などの密集住宅地については、地区の生活環境の改善及び治水対策が必要となっています。
- 鹿児島中央駅の西口周辺においては、拠点性の向上を図るために、環境整備を進める必要があります。

基本的方向

- 都市内交通の円滑化と県道永吉入佐鹿児島線などの慢性的な交通渋滞を緩和するため、鹿児島東西幹線道路の整備を促進します。
- 田上小学校周辺においては、生活環境の改善に向けて、土地区画整理事業の検討を進めます。
- 新川の河川改修を促進するなど、総合的な治水対策を進めます。
- 鹿児島中央駅の西口周辺においては、土地の高度利用などを通じて、陸の玄関にふさわしい、都市空間の創出を図ります。
- 公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

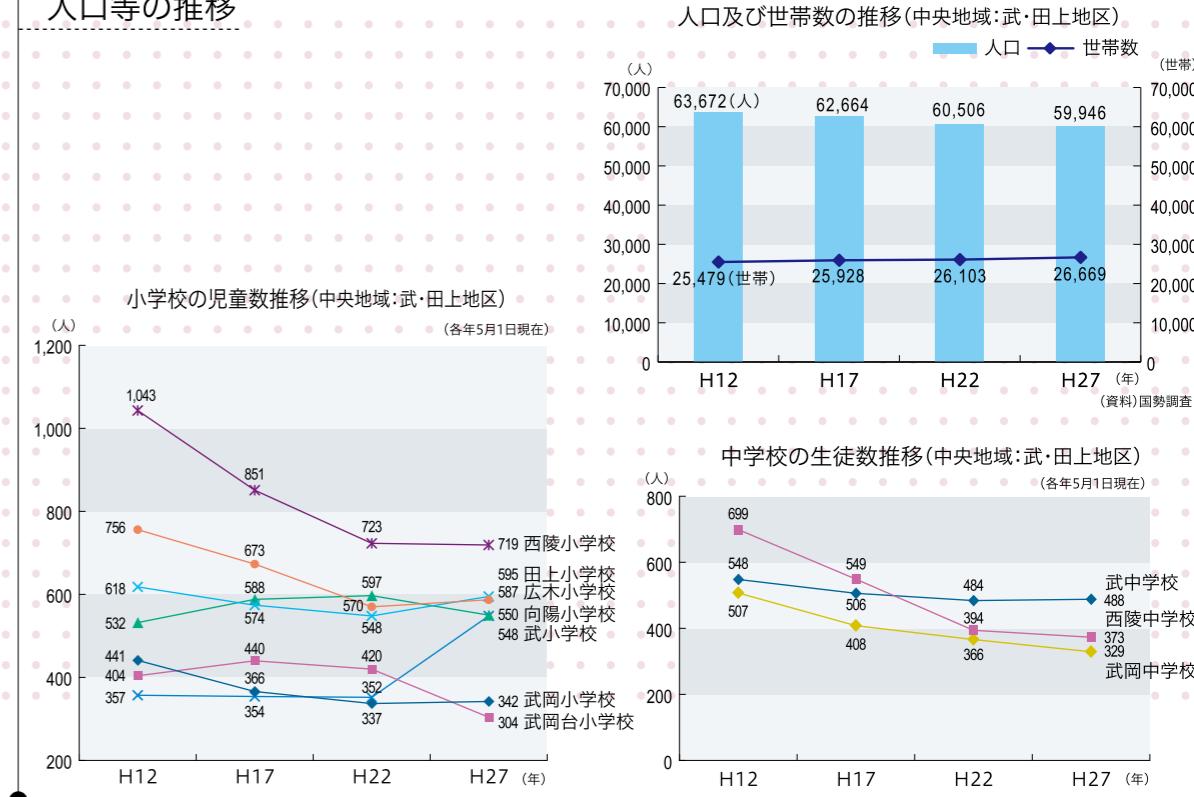
主な施策・事業

- 鹿児島東西幹線道路の整備促進
- 新川の河川改修の促進
- 中央駅西口周辺における都市機能の充実の促進
- 立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- かごしま文化工芸村の活用
- 武岡公園の整備
- 地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
- セーフコミュニティの取組の推進

#### 地区の概要



#### 人口等の推移



## 地域別計画

II

### 谷山地域 (I) 谷山北部地区

現状

- ・谷山北部地区は、永田川の上流域と下流域左岸に位置し、河岸沿いの平坦地、丘陵地、臨海部の埋立地で構成され、産業道路、国道225号、丘陵部の指宿鹿児島インター線、市電谷山電停等を有しています。
- ・地区の人口は近年増加傾向にあり、老人人口比率が20.0%と全市で最も低く、年少人口比率が16.2%と松元地域に次いで高くなっています。
- ・本地区には、星ヶ峯ニュータウンや皇徳寺ニュータウン、桜ヶ丘団地などの大型団地があり、近年では、その隣接地や中山町などで宅地開発が進みました。
- ・鹿児島ふれあいスポーツランドや谷山北公民館が整備され、スポーツ・レクリエーションやコミュニティ活動を通じた市民の交流が図られています。
- ・山間部や永田川上流域には、良好な田園集落環境が残されており、水稻や野菜・果樹・畜産等の農業が行われています。



課題

- ・住宅団地と谷山電停周辺、臨海部を連絡する東西方向のネットワークが十分でなく、これらを相互に連絡する道路網の整備が求められており、また、地区内の通過交通の緩和を図るために、鹿児島南北幹線道路や県道小山田谷山線の整備促進を図る必要があります。
- ・山間部や永田川上流域で行われる農業について、集落機能の活力の維持・増進を図りつつ、都市型農業の振興のほか、地域の特性を生かした農業の振興を図ることが課題となっています。

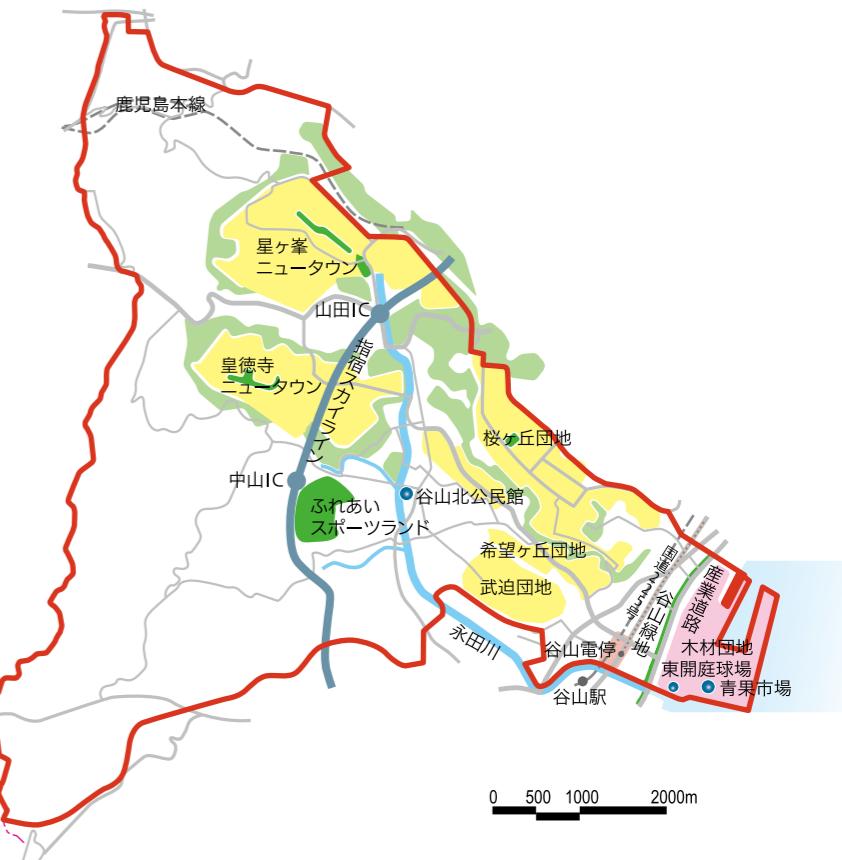
基本的方向

- ・幹線道路の整備促進等により、地区内の通過交通の緩和を図るとともに、丘陵部住宅地と地区内を相互に結ぶネットワークの形成に努めます。
- ・農村地域において都市型農業の振興、グリーン・ツーリズムの推進、良好な田園環境の保全、集落機能の活力の維持・増進などを図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

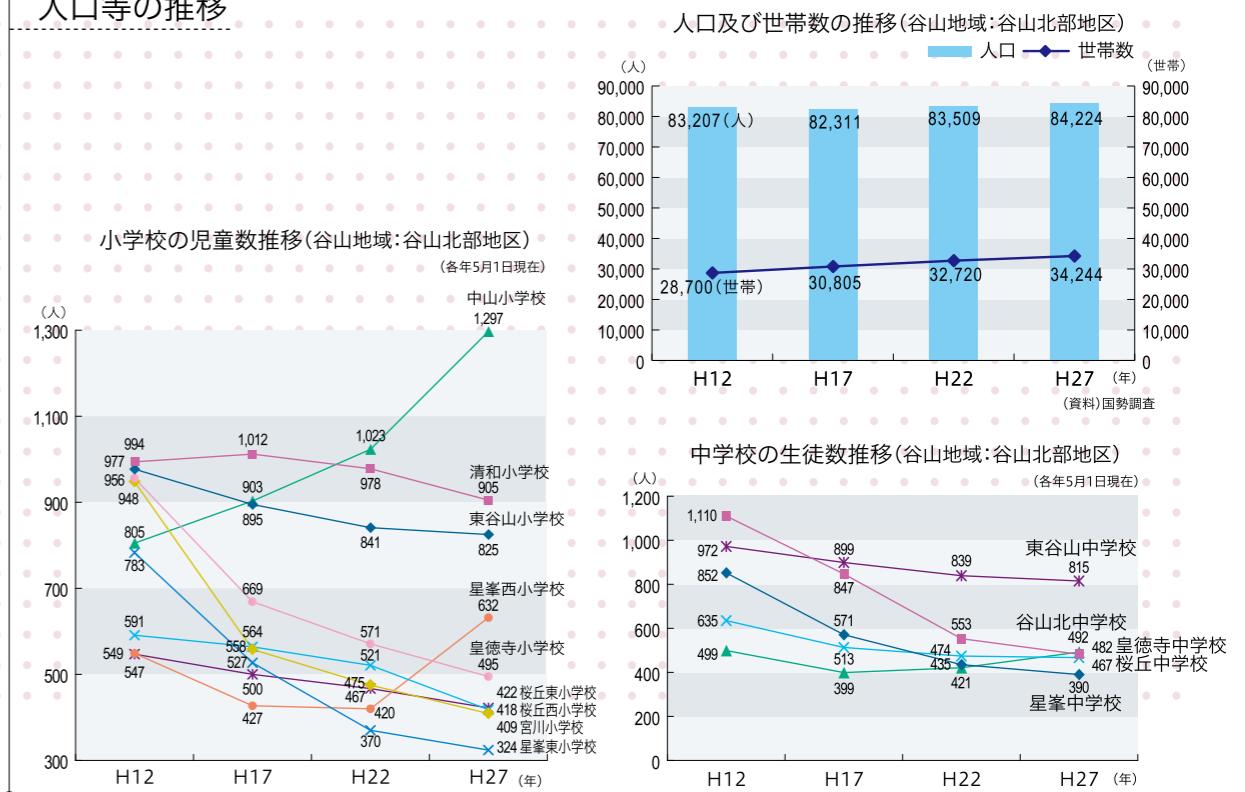
主な施策・事業

- ・鹿児島南北幹線道路の整備促進
- ・県道小山田谷山線の整備促進
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・青果市場のリニューアル
- ・谷山北公民館や東開庭球場の活用
- ・地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

#### 地区の概要



#### 人口等の推移



## 地域別計画

II

### 谷山地域 (II) 谷山地区

現状

- ・谷山地区は、永田川、和田川等の下流域沿岸の平坦地とそれらを囲む丘陵地、内陸の山間地、臨海部の埋立造成地及び自然海岸で構成されています。
- ・地区の人口は近年減少傾向にありますが、年少人口比率が15.2%で松元地域、谷山北部地区に次いで高くなっています。
- ・交通結節点であるJR谷山駅の周辺においては、幹線道路の混雑や中心商店街の活力低下が見られます。
- ・臨海部においては、谷山港の港湾機能を生かし、飼料、機械、金属、食品、印刷等の製造業や卸商業団地が形成されています。
- ・平川地区や玉利地区では、野菜や果樹・畜産等の農業が行われています。
- ・本地区は権現ヶ尾から鳥帽子岳にいたる広大な山林や平川の海岸など、豊かな自然環境に恵まれています。
- ・平川地区には、レクリエーション機能を有した平川動物公園、錦江湾公園、ヨットハーバー等の施設があります。



・面積：70.7km<sup>2</sup>  
・人口：74,862人  
・世帯数：30,761世帯

H27国勢調査

課題

- ・河川橋りょう部など大量の交通が集中する交通ネック箇所があり、幹線道路の交通渋滞が慢性化しており、これらを解消して交通の円滑化を図る幹線道路網の整備が必要となっています。
- ・宅地化の進行が見られる市街地においては、日常生活を支え、災害時の安全を確保する道路などの整備による生活環境の改善が課題となっています。
- ・豊かな自然、歴史・文化、レクリエーション施設の立地など、本地区が有する多くの魅力を地区の活性化につなげていく必要があります。
- ・農村集落においては、人口の減少などを踏まえ、地域活力の維持を図るとともに、地域の特性を生かした農産物の生産と都市型農業の振興、森林など豊かな自然環境を保全する必要があります。

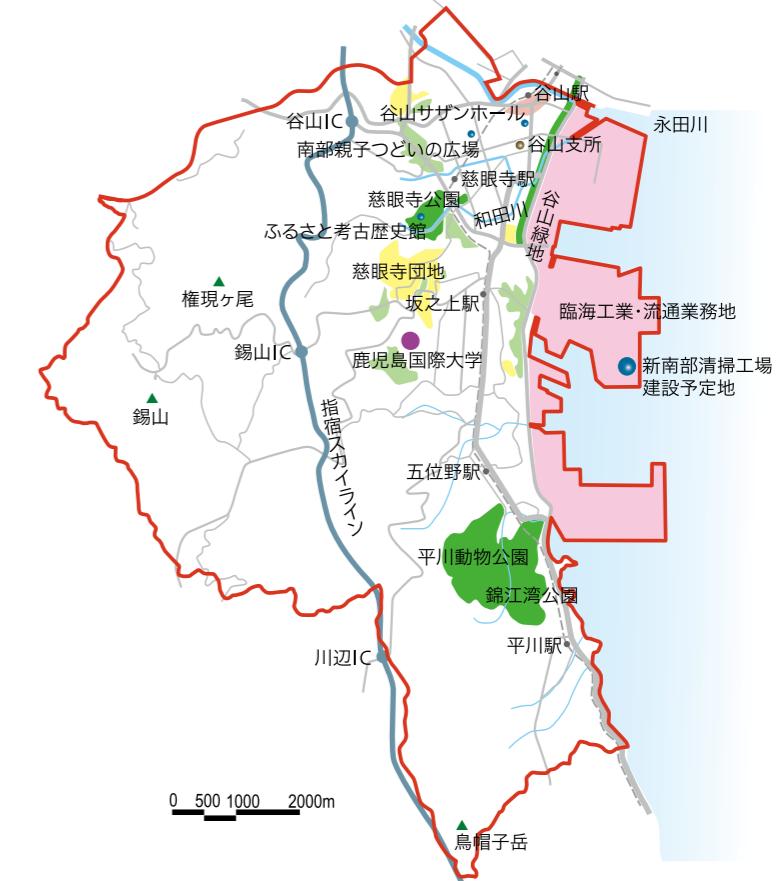
基本的方向

- ・幹線道路の整備や交通結節機能の強化、鉄道の高架化に伴う鉄道残地や高架下の整備により、地区内の交通体系を整備するとともに、面的基盤整備や街区の再編を行い、都市機能の充実を図ります。
- ・宅地化が進行している市街地においては、土地区画整理事業の推進や生活道路の整備等により生活環境の改善を図ります。
- ・平川動物公園と錦江湾公園の一体的活用を図るとともに、ヨットハーバーなどレクリエーション機能を有する施設の有効活用を図ります。
- ・農村地域において、地域活力の維持に向けた取組や都市型農業の振興、グリーン・ツーリズムの推進、また、山間部においては森林など豊かな自然環境の保全を図ります。
- ・循環型社会の構築に向け、新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）の整備を進めます。
- ・大学等が有する豊富な知的、人的資源を有効に活用し、地域の活性化を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

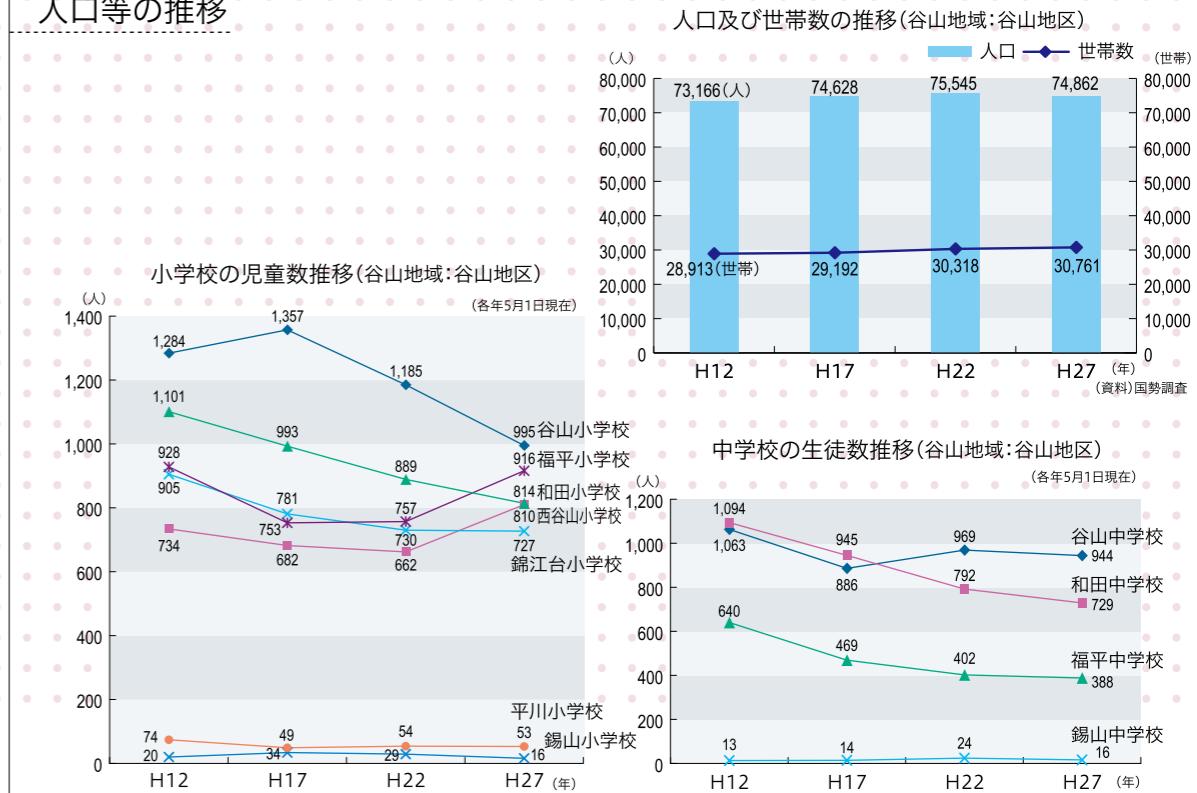
主な施策・事業

- ・土地区画整理事業の推進（谷山駅周辺地区、谷山第二地区、谷山第三地区）
- ・谷山地区連続立体交差事業（鉄道残地や高架下の整備）の推進
- ・鹿児島南北幹線道路の整備促進
- ・街路事業の推進（谷山支所前通線の連続立体交差事業関連区間）
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・平川動物公園と錦江湾公園の一体的活用
- ・都市型農業の振興
- ・森林資源の育成、水源かん養のための森林整備
- ・南部親子つどいの広場の活用
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）の整備
- ・鹿児島国際大学との連携
- ・地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

#### 地区の概要



#### 人口等の推移



地域別計画

III

伊敷地域

現  
狀

- ・伊敷地域は、本市の北西部、甲突川の中流域に位置し、伊敷支所周辺、国道3号沿道の商業地、丘陵部の住宅団地などの限られた市街地と、地域の大部分を占める山林・山間部の農村集落で構成されています。
  - ・地域の人口は減少傾向にあり、老人人口比率が29.3%と全国平均24.8%を上回っています。
  - ・伊敷支所周辺には、伊敷公民館や業務施設が立地し、丘陵部には、伊敷団地、千年団地、伊敷ニュータウン、花野団地などの大型団地が整備されています。
  - ・主要幹線として国道3号、国道328号、県道坂元伊敷線などがあり、かごしま健康の森公園や都市農業センター等が立地しています。
  - ・農村部は、園芸施設を利用した軟弱野菜の産地となっており、綿豊かな田園風景や、三重岳や甲突川など豊かな自然環境が残されています。



課題

- ・本地域の店舗数及び人口は減少しており、伊敷支所周辺などにおいて、地域の生活拠点としての機能が低下している状況にあります。
  - ・国道3号には広域交通と地区の生活交通が入り込み、時間帯によって、団地入口交差点などで交通混雑が生じています。
  - ・農村集落においては、人口の減少などを踏まえ、集落機能の活力の維持・増進を図るとともに、特色である農業や恵まれた自然環境、立地する公共施設の機能を生かしていく必要があります。
  - ・大型団地と農村部の住民間の交流が希薄なこと等により、地域の魅力や資源の情報共有や活用が十分になされていないことが課題となっています。

基本的方向

- ・日常生活の核となる地区への生活利便施設立地誘導に向けた取組を進めます。
  - ・国道3号の交通を分散する幹線道路の整備促進等を図ります。
  - ・高齢者福祉センター伊敷や西部親子つどいの広場などの活用を通して、日常の生活圏としての機能向上を図ります。
  - ・定住促進等による農村集落機能の活力維持・増進、都市型農業の振興、グリーン・ツーリズムの推進、豊かな自然環境やかごしま健康の森公園、都市農業センター等の活用による交流の促進を図ります。
  - ・大学等が有する豊富な知的、人的資源を有効に活用し、地域の活性化を図ります。
  - ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

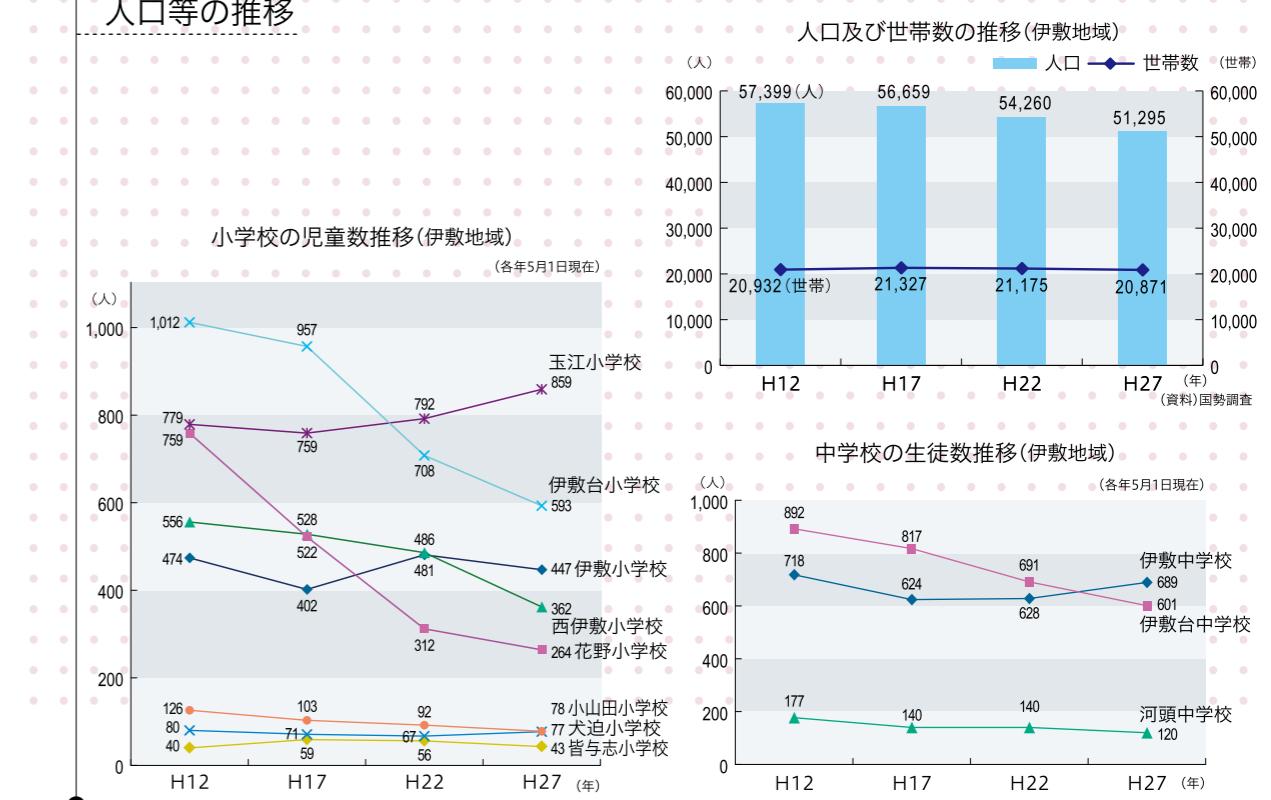
## 主な施策・事業

- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
  - ・県道坂元伊敷線の整備促進
  - ・公共交通不便地における交通手段の確保
  - ・高齢者福祉センター伊敷、西部親子つどいの広場の活用
  - ・既存集落活性化住宅の建設
  - ・都市型農業の振興
  - ・グリーン・ツーリズムの推進
  - ・かごしま健康の森公園、都市農業センター、三重岳自然遊歩道等の活用
  - ・鹿児島県立短期大学との連携
  - ・地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
  - ・セーフコミュニティの取組の推進

## ● 地域の概要



人口等の推移



## 地域別計画

IV

### 吉野地域

現状

- ・吉野地域は、本市の北部、稻荷川の上流域に位置し、吉野台地、稻荷川沿いの低地、岡之原の台地から構成されています。
- ・地域の人口は増加傾向にあり、年少人口比率が15.2%と松元地域、谷山北部地区に次いで高くなっています。
- ・地域を南北に通る県道鹿児島吉田線が主要幹線であり、丘陵部の大明丘、緑ヶ丘等では大型住宅団地が整備されています。
- ・本地域には、「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録された「寺山炭窯跡」や「関吉の疎水溝」など、貴重な文化遺産に加え、吉野公園や寺山公園、自然遊歩道など優れた景観風致を利用したレクリエーション施設を有しています。
- ・軟弱野菜等の施設園芸を主体とした農業経営がなされているほか、造園業も行われています。



・面積：33.2km<sup>2</sup>  
・人口：47,268人  
・世帯数：18,328世帯

H27国勢調査

課題

- ・県道鹿児島吉田線は、広域の通過交通と地域の生活交通が集中し、渋滞が慢性化しています。
- ・県道鹿児島吉田線沿道では、道路など生活基盤が未整備である市街地の生活環境改善に向け、土地区画整理事業を引き続き推進するとともに、県道鹿児島吉田線については、土地区画整理事業との一体的な整備などにより、渋滞の解消を図る必要があります。
- ・農村集落においては、都市部とも調和した良好な生産環境の整備を促進し、都市型農業の振興を図る必要があります。
- ・「寺山炭窯跡」や「関吉の疎水溝」など、貴重な文化遺産を将来世代に継承するとともに、市民の交流促進に向け、吉野公園や寺山公園などのレクリエーション施設の立地や、農業や造園業などの特性を生かした地域づくりが求められています。

基本的方向

- ・土地区画整理事業の推進や幹線道路等の整備を進め、良好な生活環境の形成を図るとともに、高齢者福祉センター吉野や北部保健センターなどの活用を通して、日常の生活圏としての機能向上を図ります。
- ・自然環境の保全に配慮した農業生産基盤の整備を推進するとともに、都市型農業の振興やグリーン・ツーリズムの推進を図ります。
- ・豊かな自然の中で、体験活動や散策、スポーツ等を楽しめるレクリエーション機能の活用を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

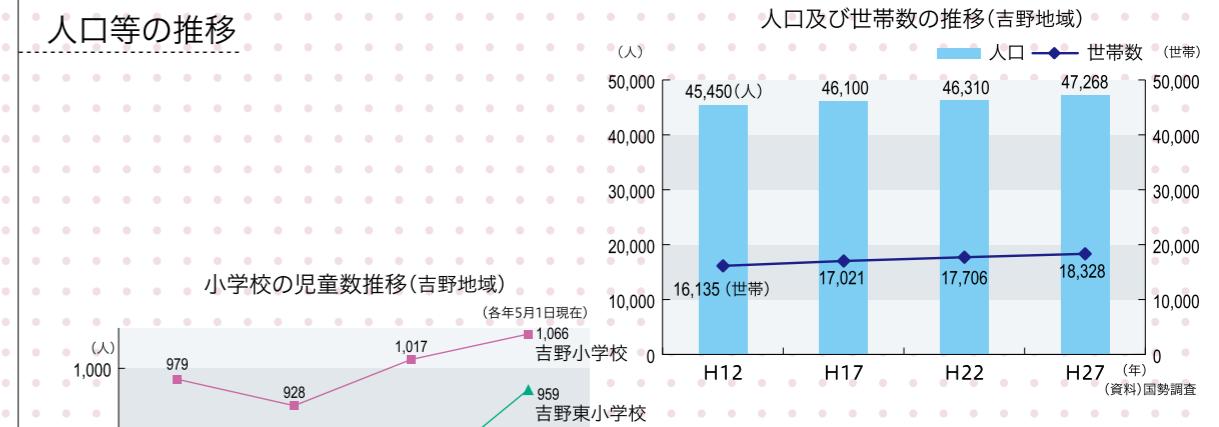
主な施策・事業

- ・土地区画整理事業（吉野地区、吉野第二地区）の推進
- ・県道鹿児島吉田線の整備促進
- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・寺山ふれあい公園、吉野公園、寺山公園、寺山自然遊歩道等の活用
- ・北部親子つどいの広場の活用
- ・世界文化遺産の保全と活用
- ・地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

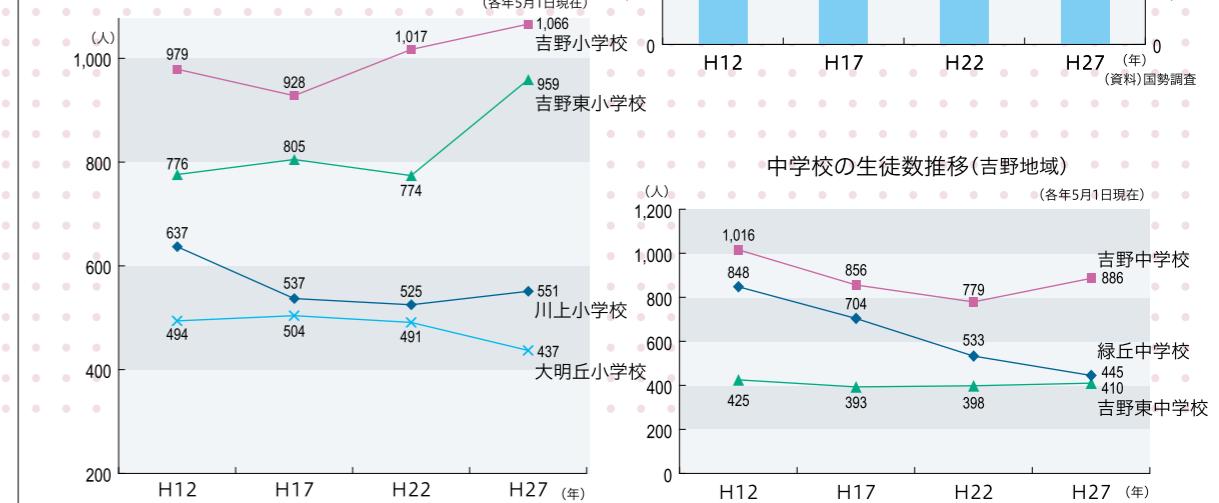
#### 地域の概要



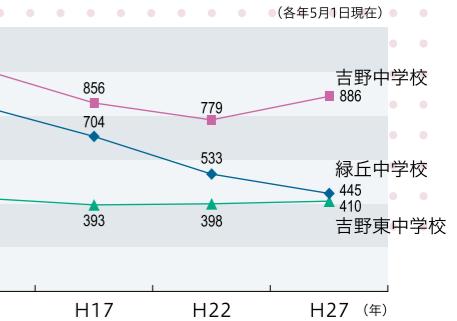
#### 人口等の推移



#### 小学校の児童数推移(吉野地域)



#### 中学校の生徒数推移(吉野地域)



## 地域別計画

V

### 桜島地域

現状

- ・桜島地域は、錦江湾に浮かぶ火山活動が活発な桜島にあり、地域内のほとんどが溶岩原、山林及び原野であり、宅地の多くは海岸線に沿って帯状に続いています。
- ・地域の人口は減少傾向にあり、老人人口比率が43.2%と全市で最も高くなっています。
- ・ほぼ全域が霧島錦江湾国立公園に指定されているほか、全域が桜島・錦江湾ジオパーク（日本ジオパーク）のエリアに含まれています。溶岩原や温泉等の観光資源に恵まれており、溶岩なぎさ公園足湯、溶岩グラウンド、赤水展望広場、湯之平や有村の展望所などが整備され、24時間運航の桜島フェリーにより市街地と結ばれた、本市を代表する観光スポットとなっています。
- ・ビワ、桜島小ミカン、桜島ダイコン、ブリ、カンパチなど特色ある農林水産資源に恵まれています。
- ・平成27年8月の噴火警戒レベル4への一時的な引き上げなど、桜島の活発な火山活動が継続する中、防災行政無線、避難港、避難道路などが整備されています。



・面積：76.8km<sup>2</sup>  
・人口：4,401人  
・世帯数：2,054世帯

H27国勢調査

課題

- ・住民の日常生活や産業活動は、桜島の火山活動により多大な影響を被る恐れがあり、また、大規模な噴火も想定されることから、桜島爆発災害対策等の防災対策を含め、桜島地域の特殊性を考慮した施策を積極的に進め、火山活動から地域の暮らしを守り、地域資源の活用、活火山・桜島との共生を図りながら、活力の維持・増進を図ることが必要です。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

基本的方向

- ・桜島の大規模噴火に備えるため、市民及び関係機関との連携により、避難計画の充実、長期的な避難生活支援対策や大量降灰対策の検討など、全島避難を要する噴火への対策を推進します。
- ・地域特産物の生産振興、防災営農対策の推進、農村集落の生活環境の改善及び地域活力の維持・増進、グリーン・ツーリズムの推進及び漁業の振興を図ります。
- ・国立公園としての自然環境を保全するとともに、桜島・錦江湾ジオパークとして広く情報発信し、桜島の特性を生かした、自然と人が共生する体感的な観光・レクリエーションの促進や受入体制の充実を図ります。また、桜島の火山活動の状況については、適時、情報発信を行い、過度な不安や風評被害の防止に努めます。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

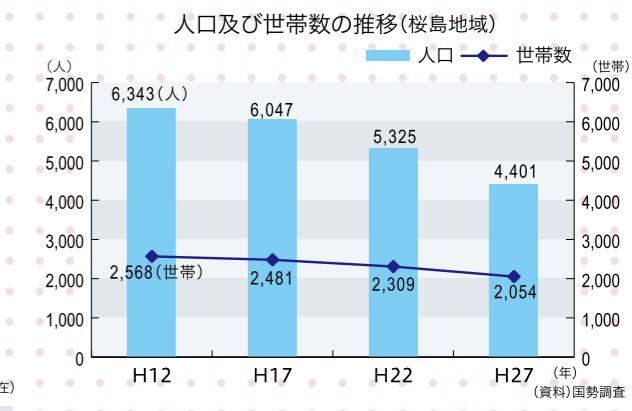
主な施策・事業

- ・大規模噴火に備えた対策の充実
- ・市民と一体となった警戒避難体制の確立
- ・ビワ、桜島小ミカン、桜島ダイコンなど地域特産物の生産振興
- ・土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・桜島・錦江湾ジオパークにおける活動の推進
- ・降灰等に対する防災営農対策事業の実施
- ・桜島港フェリー施設の整備
- ・よりみちクルーズ船の運航、桜島周遊バスの運行・活用
- ・赤水展望広場、溶岩なぎさ公園足湯、湯之平展望所等を活用した観光振興
- ・サイクルフェスタなど魅力あるイベントの創出・充実
- ・県道桜島港黒神線の整備促進
- ・桜島総合体育館、桜島溶岩グラウンド等の活用
- ・改新交流センターの活用
- ・地域コミュニティ協議会の活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

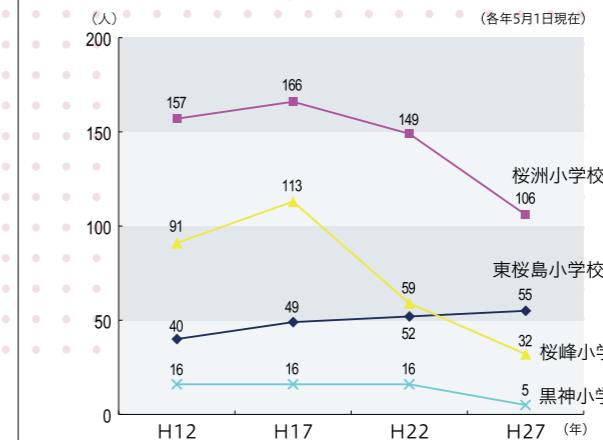
#### 地域の概要



#### 人口等の推移



#### 小学校の児童数推移(桜島地域)



#### 中学校の生徒数推移(桜島地域)



## 地域別計画

VI

### 吉田地域

現状

- ・吉田地域は、本市の北部に位置し、周りを山々に囲まれ、渓流や緑豊かな自然環境に恵まれた田園地域です。
- ・地域の人口は減少傾向にあり、老人人口比率が31.3%と市内平均24.8%を上回っています。
- ・県の教育・研修施設や、吉田文化体育センター、吉田多目的屋内運動場など文化・体育施設が整備されています。
- ・地域を南北に縦断する九州縦貫自動車道や県道鹿児島蒲生線など、都心部と鹿児島空港や県北部とを結ぶ幹線道路を有しています。
- ・軟弱野菜を主体とした施設園芸や、ニガウリやナバナなどの地域特産物の生産が行われています。



・面積：54.8km<sup>2</sup>  
・人口：10,578人  
・世帯数：4,227世帯

H27国勢調査

課題

- ・緑豊かな自然環境や農村景観、立地する文化・体育施設等を活用しながら、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・幹線道路の整備促進等を通じた交通の円滑化を図る必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

基本的方向

- ・幹線道路の整備促進等を進める中で、自然環境と調和した安らぎのある生活環境の形成を図ります。
- ・文化・体育施設や、周辺に残された美しい農村景観、森林などの豊かな自然、農業、温泉などの地域資源の有効活用を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善及び地域活力の維持・増進を図るとともに、農業や豊かな自然等を生かしたグリーン・ツーリズムを推進します。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

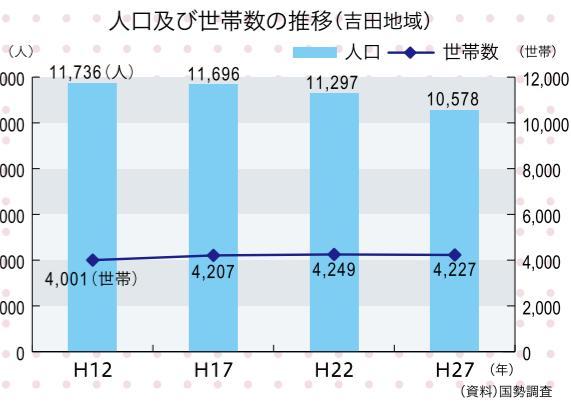
主な施策・事業

- ・吉田地域と始良市蒲生地域を結ぶ市道の整備（奥之宇都線）
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・森林資源の育成、水源かん養のための森林整備
- ・地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・吉田文化体育センター、運動場等の活用
- ・地域コミュニティ協議会の活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

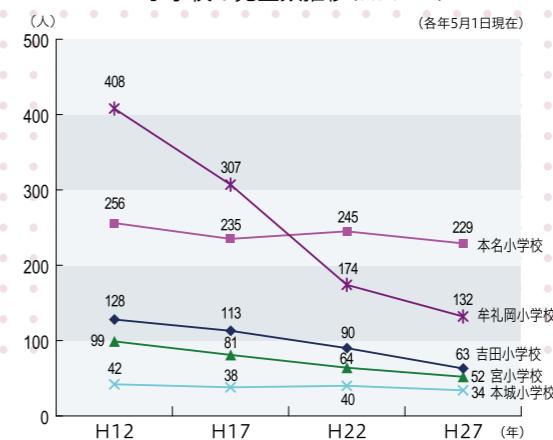
#### 地域の概要



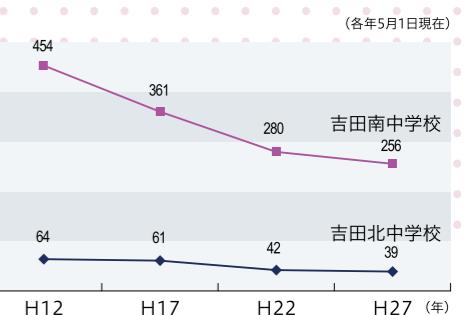
#### 人口等の推移



#### 小学校の児童数推移(吉田地域)



#### 中学校の生徒数推移(吉田地域)



## 地域別計画

VII

### 喜入地域

現状

- ・喜入地域は、市域の南部に位置し、錦江湾沿いに細長い形状を成し、その約8割を占める山地と長い海岸線で構成されています。
- ・地域の人口は減少傾向にあり、老人人口比率が33.7%と桜島地域、郡山地域に次いで高くなっています。また、交通面、商業集積など生活の利便性の格差から、北中部への人口集中と南部の過疎化・高齢化の二分化が見られます。
- ・錦江湾沿いの限られた平坦地に国道226号や鉄道が通っています。
- ・気軽な温泉リゾートが楽しめるマリンピア喜入や生見海水浴場、農業や自然、食・環境などの体験や学習ができる観光農業公園等があり、また、地域固有の植生や美しい景観を有する自然海岸や一団の山林自然環境が残されています。
- ・オクラやカボチャなどの地域特産物の生産が行われています。



課題

- ・都心部へのアクセス道路が幹線道路である国道226号等に限られていることから、慢性的な交通渋滞が発生しており、その解消が求められています。
- ・海や山林などの自然や地域資源を生かした観光・レクリエーション機能の向上、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業や漁業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

基本的方向

- ・都心部と喜入地域を結ぶ幹線道路の整備促進を図ります。
- ・生見海水浴場やマリンピア喜入、観光農業公園のほか、史跡や景勝地など地域資源を有効活用することにより、観光・レクリエーション機能の向上やグリーン・ツーリズムの推進を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善及び地域活力の維持・増進並びに漁業の振興を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

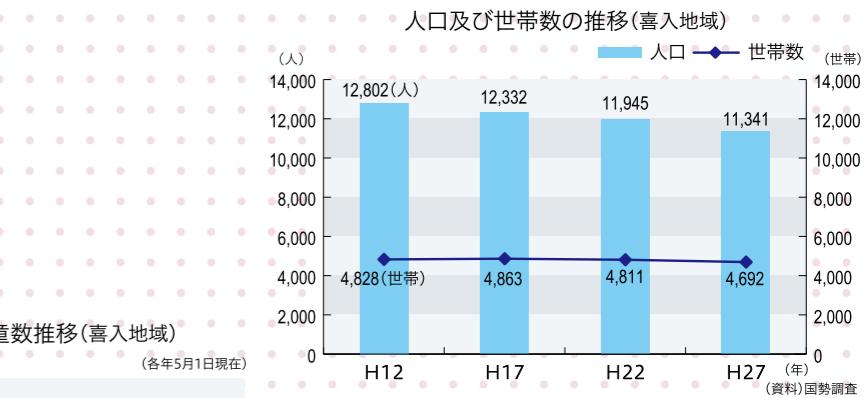
主な施策・事業

- ・国道226号の整備促進
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・観光農業公園、マリンピア喜入の活用
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・森林資源の育成
- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・喜入総合体育館、運動場等の活用
- ・喜入旧麓地区の景観形成重点地区指定
- ・地域コミュニティ協議会の活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

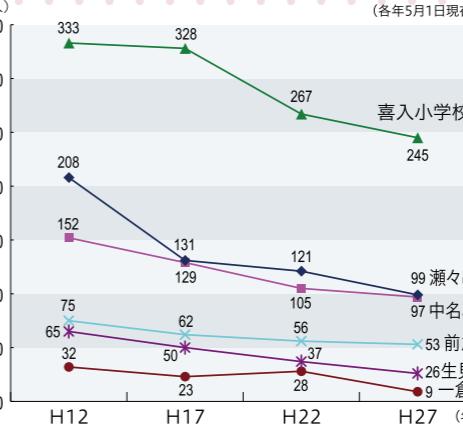
#### 地域の概要



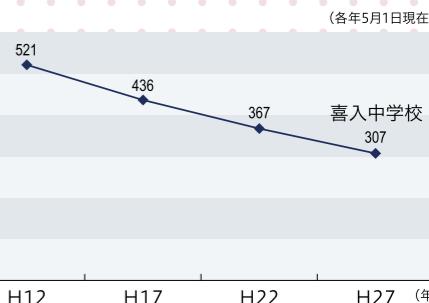
#### 人口等の推移



小学校の児童数推移(喜入地域)



中学校の生徒数推移(喜入地域)



## 地域別計画

VIII

### 松元地域

現状

- ・松元地域は、市域の西部に位置し、多くの丘陵と渓谷からなり、河川沿岸や幹線道路沿線の限られた平坦地と主に山地で構成されています。
- ・地域の人口は、平成27年の国勢調査による人口増減率が対前回比8.2%増と引き続き増加傾向にあり、年少人口比率が19.5%と全市で最も高くなっています。
- ・近年、ガーデンヒルズ松阳台などの宅地化が進む一方、山林は減少傾向にありますが、依然として本地域の広範囲を占め、豊かな自然環境の中で、松元ダムの水を利用して、地域特産物である茶等の生産が行われています。
- ・南九州西回り自動車道や、永吉入佐鹿児島線等4つの県道、2つのJR駅などの交通基盤を有しています。
- ・松元平野岡体育館、運動場、茶山ドームまつもとや都市農村交流センターお茶の里など、スポーツ・レクリエーション施設やグリーン・ツーリズム施設が整備されています。



・面積：51.1km<sup>2</sup>  
・人口：15,363人  
・世帯数：5,671世帯

H27国勢調査

課題

- ・住宅開発が進む中、進展する都市的土地区画整理事業について、周辺の田園環境との調和が図られるよう計画的に誘導するとともに、幹線道路における交通の円滑化や小中学校周辺の歩行者の安全確保など、人口増加に対応した都市機能の充実を図る必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・特徴的な景観を形成する茶園等の田園風景や豊かな自然環境、立地するスポーツ・レクリエーション施設やグリーン・ツーリズム施設を活用しながら、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

基本的方向

- ・市街地においては、用途地域や地区計画などの活用により、田園環境と調和した土地利用の誘導や、良好な住環境の形成を図ります。
- ・県道の整備促進等により、交通の円滑化や生活環境の改善を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善及び地域活力の維持・増進を図るとともに、都市農村交流センターお茶の里を活用し、農業や豊かな自然等を生かしたグリーン・ツーリズムを推進します。
- ・スポーツ・レクリエーション施設を、健康づくり、交流の場として利活用を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

主要な施策・事業

- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・県道永吉入佐鹿児島線・県道松元川辺線の整備促進
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・茶などの地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・森林資源の育成
- ・都市農村交流センターお茶の里の活用
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・松元平野岡体育館、運動場等の活用
- ・地域コミュニティ協議会の設立・活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

#### 地域の概要

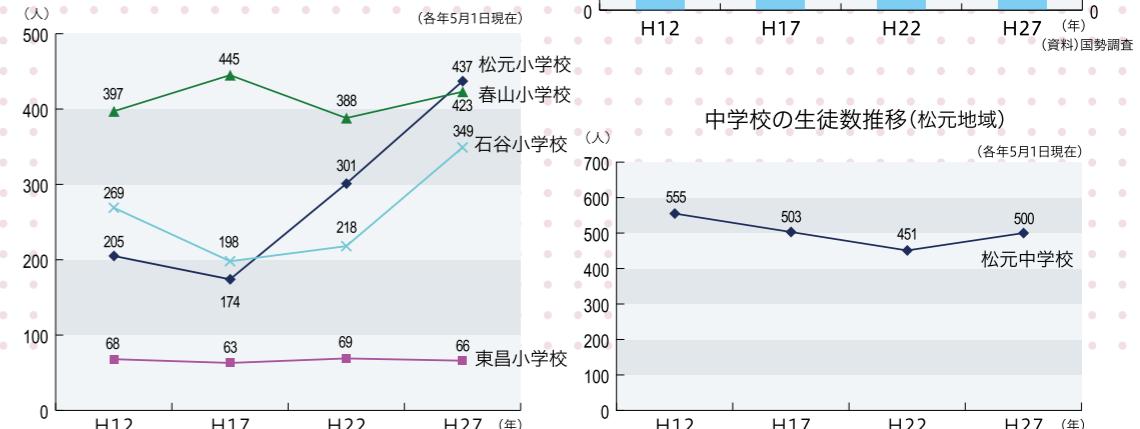


0 500 1000 2000m

#### 人口等の推移



#### 小学校の児童数推移(松元地域)



## 地域別計画

IX

### 郡山地域

現状

- ・郡山地域は、本市の北西部、甲突川の上流部に位置し、東の花尾山・三重岳、西の重平山、南の小高い丘陵地帯、北の八重山に囲まれてあります。平坦地は甲突川、神之川及び川田川流域に開けたわずかな地域に限られています。
- ・地区の人口は減少傾向にあり、老人人口比率が34.1%と桜島地域に次いで高くなっています。
- ・本地域の中心部においては、国道328号等の幹線道路沿いに市街地が形成されています。
- ・本地域には、豊富な温泉や花尾神社などの史跡、さらには地域の大半を占める森林や河川流域に広がる田園などの地域資源に加え、スパランド裸・楽・良、郡山体育館、運動場などスポーツ・レクリエーション施設が整備されています。
- ・肉用牛やニガウリを中心とした農畜産物のほか、早掘りたけのこ等の産地となっています。
- ・地域の一部が、川内原発から30km圏内に位置しています。



・面積: 57.8km<sup>2</sup>  
・人口: 7,321人  
・世帯数: 2,986世帯

H27国勢調査

課題

- ・引き続き郡山中央地区の土地区画整理事業を推進し、良好な市街地環境の形成を図るとともに、公園や緑地等の整備を行う必要があります。
- ・特徴的な田園風景や緑豊かな自然環境、史跡や立地するスポーツ・レクリエーション施設を活用しながら、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。
- ・川内原発から概ね30km圏内の原子力災害対策重点区域について、原子力災害に備えた対策を継続して取り組む必要があります。

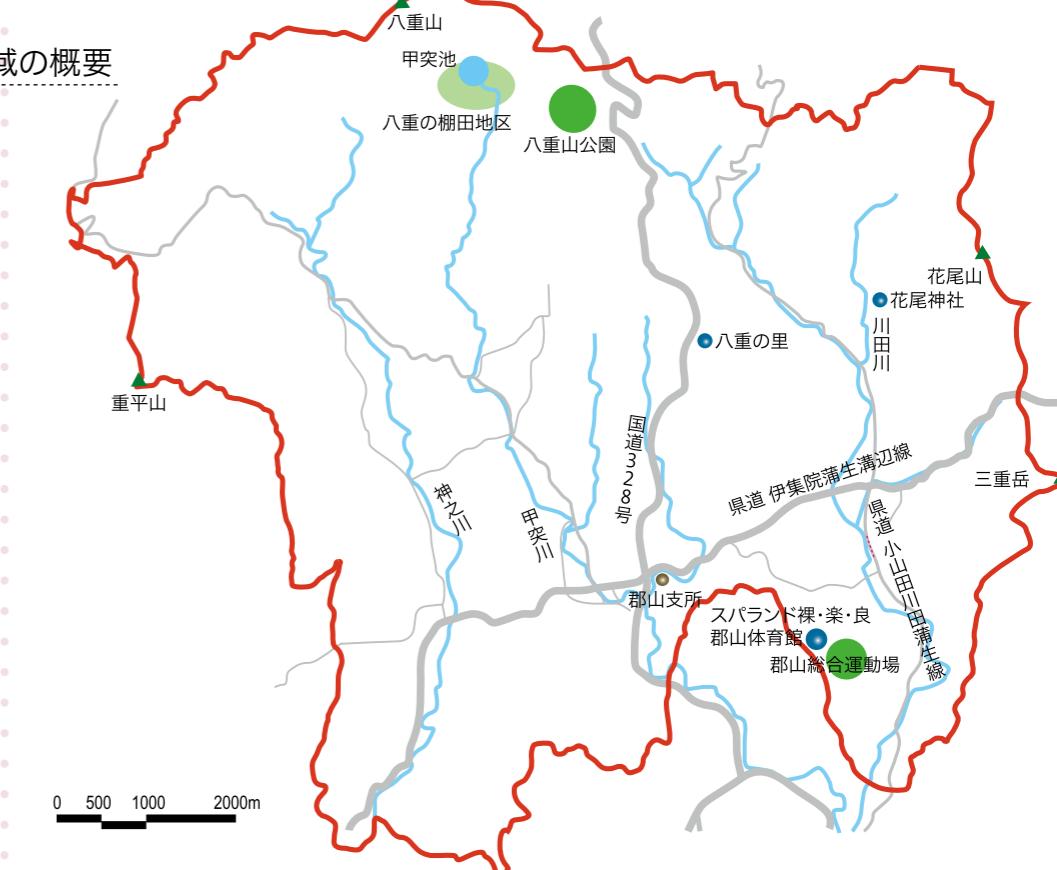
基本的 方向

- ・郡山中央地区画整理事業を推進し、生活環境の整備とともに、地域中心としての機能の充実を図ります。
- ・スポーツ・レクリエーション施設を、健康づくり、交流の場として利活用を図ります。
- ・八重の棚田や甲突池などに代表される森林・河川・田園・温泉・文化財等の地域資源の有効活用を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善及び地域活力の維持・増進を図るとともに、農業や豊かな自然等を生かしたグリーン・ツーリズムを推進します。
- ・地域防災計画（原子力災害対策編）に基づき、訓練や研修等の原子力災害対策を推進します。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

主な 施策 事業

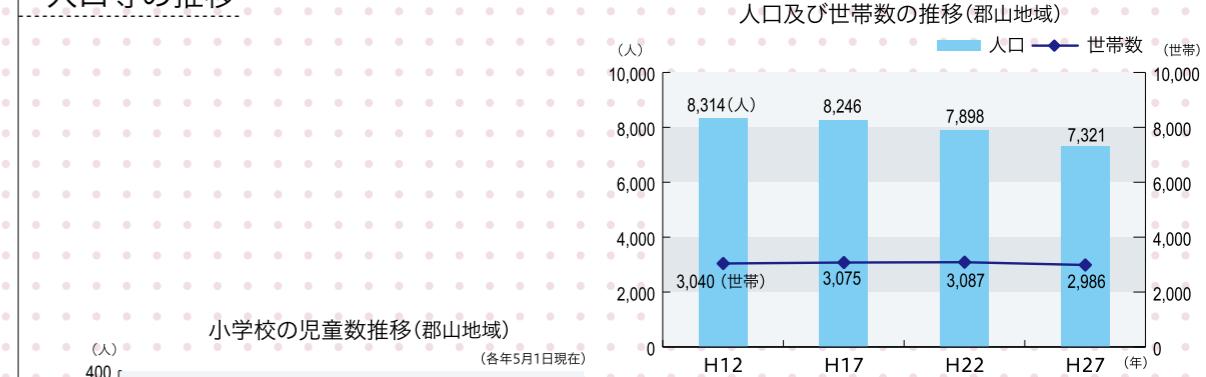
- ・土地区画整理事業の推進（郡山中央地区）
- ・立地適正化計画や土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- ・公共交通不便地における交通手段の確保
- ・スパランド裸・楽・良と連携した郡山体育館、運動場等の活用
- ・八重の棚田地区における景観修景の推進や景観保全のための地域活動への支援
- ・地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・森林資源の育成、水源かん養のための森林整備
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・原子力災害対策の推進（原子力災害対策重点区域 ※川内原発から概ね30km圏内）
- ・地域コミュニティ協議会の活動支援
- ・セーフコミュニティの取組の推進

#### 地域の概要

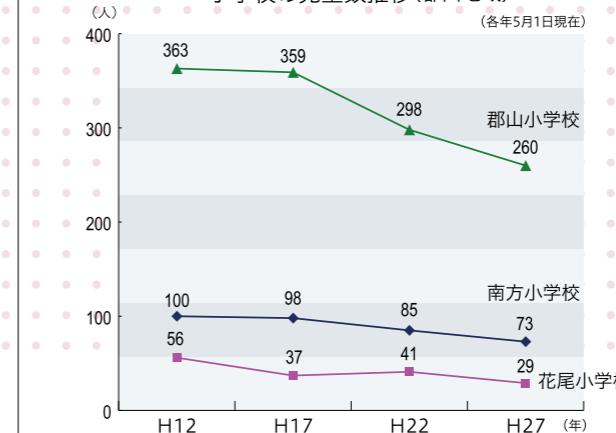


0 500 1000 2000m

#### 人口等の推移



#### 小学校の児童数推移(郡山地域)



#### 中学校の生徒数推移(郡山地域)

